



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年12月24日
我孫子市小中一貫教育だより
第357号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「ようこそ～小ランドへ～寿保育園年長交流会～」

我孫子第一小学校1年生生活科の学習でAbi-キャリアの授業が展開されました。今日は、生活科の学習で学んだことを活かし、小学校ってこんなに楽しいところだよと、園児に「学校の素敵」を伝えます。

まずは、「にじ」の曲を振り付きで歌いました。元気いっぱいの歌声が体育館中に広がり、園児を優しく包みます。続いて6つのコーナーに分かれ園児と交流をしました。授業で集めた木の実でどんぐりマラカスを作り、音楽に合わせて一緒にダンスをしたり、松ぼっくりで作ったけん玉で遊んだりしました。

木の葉を使ったフロッタージュでは、葉っぱの上に重ねた紙が動かないよう手を添えながら、「色鉛筆をねかせて優しくこするといいよ。」など自分の経験から学んだことを教えていました。



感想発表では、園児から「ボーリングで350点取れて嬉しかった。」「すごく楽しかったからまた来たい。」などの感想が発表されました。

園児が帰った後、学年の先生方から頑張ったことを評価する言葉が掛けられました。子ども達は、先生方や園児の言葉を聞き、自分自身の成長を感じていました。園児と関わり、自分の役割に責任を持ちやり遂げたからこそ味わえた達成感が溢れる、素敵な授業でした。



Abi-ふるさと「風水害からくらしを守る」

我孫子第三小学校4年生社会科で、Abi-ふるさと「防災から身を守る」の授業が行われました。これまでも安全教育は各校で実施されてきましたが、我孫子中学校区では安全教育で教科や領域、そして9年間の学びをつなぐ視点を大切にしています。

これまで学習した内容を踏まえ、児童それぞれが「防災宣言」を通して、自分にできる防災の取り組みについて考えることが目的です。まず、千葉県が作成している防災教育の副読本「こども防災」のワークシートを活用し「地震に備えておいた方がよいこと」を書きました。「集合場所を決めておく」「倒れやすいものは高いところに置かない」「非常食の定期的点検」などの意見が挙がりました。「防災宣言」では、「近所の高齢者や体の不自由な人を知っていれば避難を手伝うことができる」という共助の視点から考える児童もいました。



1995年に発生した阪神大震災では、被害を最小限に抑えるために「自助」「共助」「公助」が「7:2:1」の割合で連携し対応力を高めしていくことが大切であるという教訓を残しています。安全教育の取組は、地域が一体となって「安全に暮らせる社会」について考えるきっかけとなります。子どもたちが授業で学んだことを、家庭で話す姿が目に見え、浮かぶ授業となりました。